

20231110 『第 162 回 運輸の日』

10 日、『第 162 回 運輸の日』を実施しました。

本日は朝から雨の中のスタート。午前中は企画的に空車が目立っていて、カーテンが空いている車もかなり多くスムーズに話しを聞くことができました。本日のテーマは「大型の速度規制緩和 100 キロについてどう思うか！」自分の聞いた人数は 11 人で賛成が 9 人、反対が 2 人でした。賛成意見のほとんどが、労働時間、運行時間の短縮、睡眠時間の確保、追い越し時の渋滞緩和に繋がるのでは？と言った意見が多く、賛成ではあるが事故を起こした時の悲惨さを考えるとどうなのかなあ？と言った意見でした。

また反対意見では、80 キロで慣れてるし、別に 100 キロにされたところでも危なすぎて出さないとと思う。と言った意見やトラックの性能への不安を口にする人もいました。

今回他の活動メンバーが聞いた話ではほとんどの人が反対だった中、自分が聞いた人はほとんどが賛成と真逆だったことなどから、簡単に規制緩和できるようなことではないと感じました。

記事 中井 篤史



【行動者の感想】

この活動も初めての参加となり、周りの方達に話を聞きながらの行動となりました。

昨日までの強風は、おさまり穏やかな天候に恵まれ作業しやすかったです。

回収物の中で目立った物はタバコの吸い殻と中身の入ったペットボトル！でした。タバコは風で飛ばされた感じでは無く、灰皿をひっくり返し捨てた感があり寂しく感じました。あと、中身入りペットボトル(通称、爆弾)トイレから遠い駐車場に多く捨てられている感があり、緊急事態だったのかも知れないが最後まで自分で処理しよって感じでした。

「昔と比べるとゴミがかなり減ったんだよ」との話を聞き、ゴミがゴミを呼んでしまう事もあり「クリーンキャンペーン」の地道な活動が少しずつ形になってきているんだなぁと感じました。

あと、246 号線金田の信号の周辺に小学生が書いたポイ捨てをやめよう！とポスターが何枚もはられていますがポイ捨てが無くならない現状、トラックドライバーだけでは無く、社会的なマナー向上が必要であり子供に見られて恥ずかしく無い行動を取りたいと思いましたし、啓蒙活動をして行ければと思いました。

今日はお疲れ様でした。

中島 直樹(日通川崎運輸労働組合)

「高速道路大型トラック最高速度 100Km/h 引き上げ」についてアンケート調査を行った。

当日は、あいにくの雨の中、執行部 4 名で東神 T.S で待機中のドライバーに話を聞いた。

アンケート調査では 11 名中 10 名が反対であり、「過去に重大事故の多発ゆえに 80Km/h 規制としたものの 2024 年問題が浮上し、物流停滞を懸念した 100Km/h の引き上げは、何処までもドライバーを下に見た視点の発想である」として受け入れ難いと言う意見が大部分を占めた。

100Km/h 走行で目は血走り、燃費を悪化させ、事故と隣り合わせでこの先も働かせるつもりなのか。燃油費の負担増は誰が保証するのか？

たとえ、引き上げが成立しても会社では継続して 80Km/h 走行を維持するであろう、意見が大半であった。何よりデジタコの設定変更だけでも企業は大きな負担を強いられる。

時間外労働上限規制は、ドライバーの長時間、過重労働防止策であり、時短との代替え案である 100Km/h 引き上げには疑問が残るばかりである。ドライバーはどこまで消費者、荷主、国に翻弄され続けなければならないのだろうか…

この様にヘッポコ 3 人組みは控え室で議論し合い、すっかり運輸労連の幟を片付け忘れえました。一つの事しか出来ないポンコツです。

櫻井 健一郎(SBS フレイトサービス労働組合)

